

平成23年10月16日  
今週のベストショット



H23. 10. 16 雁レクD ブルーマーリンズ 対 奈多サンデーズ戦  
本日のヒーローだ！サイクル安打の奈多サンデーズ八島久徳選手！達成のバットを手に！！  
(写真と文：三友クラブ 山本健一)

### 雁レクD

ブルーマーリンズ	00000	0	負投手：友重	HR：なし
奈多サンデーズ	2945×	20	勝投手：江口	
HR：木下×2・田中（俊）×2・八島・首藤・塚本				

### サイクル安打達成 八島久徳（奈多サンデーズ）

試合は初回から奈多サンデーズが主導権をにぎり、二回には打者12人の猛攻で9点を奪い試合を決定づける。ブルーマーリンズは初回・二回・四回と先頭打者を出すも、後が続かず得点できない。四回裏、これまで三塁打・安打・二塁打と、記録まであと一步の打者に打順が回ってきた。その名はサンデーズ3番打者の八島久徳選手。この回はただ今3者連続本塁打中。4者連続およびサイクル安打達成なるか。相手ブルーマーリンズ友重投手の初球、外角高めをとらえた打球は右中間越えの本塁打。見事記録達成！おめでとうございます。試合はランナーを出しながらも要所を抑え、大量20得点を奪ったサンデーズが圧勝！ブルーマーリンズは1番打者塚太一選手と5番打者友重正司投手が、それぞれ2安打と好調だっただけに点を奪えず残念！（記事：三友クラブ 山本健一）



4打数4安打2HRの奈多サンデーズ木下隆弘選手。  
HR王争いで同僚の田中俊弘選手（8本）を追う。



二回表二死満塁のチャンスでファーストフライに  
終わるブルーマーリンズ塚太一選手。



ボール球を本塁打する奈多サンデーズ塚本浩二選手。  
ここから4者連続本塁打が始まった。



最終回二死一・二塁のチャンスも凡退に終わり  
残念なブルーマーリンズ安部光廣選手。

## 青松園A

新町パイレーツ	100136	11	勝投手：吉田	HR：なし
新町ウインズ	000114	6	負投手：大久保	HR：なし

パイレーツは初回1点を先制すると、四回には一番桐島涼選手の三塁打で1点を追加した。1点を返された五回表には6番川田弘美選手、8番田中新一選手のタイムリーなど打者一巡の猛攻で6点を挙げて突き放した。六回裏にウインズも意地を見せ4点を返すが、パイレーツ吉田崇浩投手が最後の打者を三振に切ってとりゲームセット。パイレーツ打線は、技巧派のウインズ大久保浩投手のボールを見極め、四球でチャンスをつくり、タイムリーを放つという理想的な展開で勝利を収めた。

（記事：レッドサンデーズ 鳥羽晃弘）



5回まで粘りの投球をみせたウインズ大久保浩投手。



2安打を放ったパイレーツ6番川田弘美選手。



今シーズン初勝利を挙げたパイレーツ吉田投手。

## 青松園B

塩浜ジャガーズ	0 1 0 0 2 0	3	負投手：内田	HR：なし
雁ノ巣ライナーズ	0 1 1 0 2 1 ×	5	勝投手：奥原	HR：宇野

初回は、先週完全試合を達成したジャガーズ内田耕司投手、ライナーズ奥原健太郎投手の好投で終える。二回表ジャガーズ内田投手が二塁打を打ち、奥原投手の悪送球を誘い先制点を挙げる。その後、二死満塁で立石高伸選手に回るが三塁ゴロに終わり追加点ならず。二回裏ライナーズ宇野元康選手の安打後、3試合連続HR中の濱崎和彦選手の左翼前安打がジャガーズ松下左翼手のエラーを誘い同点に。この打球はホームランになるかと思われたが、青松園のフェンス外に出たため二塁打となり残念。三回裏ライナーズは、二死一・三塁で久保田哲也選手が中前に落ちる適時打で追加点。五回表ジャガーズは2番稲富甚太選手から4連打で2点を挙げ一時逆転する。しかし3-2で迎えた五回裏、この日打撃好調のライナーズ宇野選手が見事な2ランで逆転し、ライナーズが逃げ切った。(記事：三苦フレンズ 吉村雄二)



二回表、二死満塁と絶好のチャンスを活かせなかったジャガーズ立石高伸選手。



三回裏ライナーズ久保田哲也選手の打球は中前にポトリと落ちるタイムリーとなった。



10月とは言え、早朝は冷えますので、しっかり防寒しての応援をお願いします。



五回裏、チームを救う見事な逆転2ランを放ったライナーズ宇野元康選手。

## 奈多グラウンド

三苦三球会	0 4 5 0 0 0	9	勝投手：吉留	HR：なし
三苦ホーネッツ	0 0 0 0 0 0	0	負投手：矢野	HR：なし

ここまで1敗の三球会と1敗1分のホーネッツの優勝争い生き残りを賭けたゲーム。両チーム無得点で迎えた二回表、三球会は先頭永吉勝選手が死球で出塁すると、続く6番藤澤康隆選手はサード悪送球で出塁、7番洪田正勝選手は四球を選び無死満塁とする。ここでホーネッツ矢野義幸投手も踏ん張り二死とするも、四球、暴投、内野守備の乱れによりこの回ノーヒットで4点を献上した。勢いに乗った三球会は三回にも、相手失策と四球に安打3本を絡め打者一巡の猛攻で5点を加えた。何とか一矢を報いたいホーネッツはチャンスを作るものの、三球会吉留隆久投手の好投の前に終わってみると1安打完封。注目の一戦は予想外の一方的な試合となり、三球会に軍配が上がった。守備が乱れ、ホーネッツらしくない痛い敗戦となりました。（記事：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



三球会洪田三塁手と真田遊撃手の固い三遊間。



ホームでアウトにするものの、この後ホーネッツは、四球とエラーで先制を許してしまう。



ピッチングと同様にフィールディングも軽快な三球会吉留隆久投手。



9点差にも関わらず三球会は、ホーネッツ矢野投手にバントを仕掛ける徹底ぶり。



三回表、代打でタイムリーを放ちガッツポーズ！  
三球会堺和彦選手。



ホーネットς塚巖生二壘手のダイビングも及ばず  
打球はセンターへ。



大事な一戦に快勝した三球会ナインに  
拍手と満面の笑顔がこぼれる。



俊足を活かしたいホーネットς1番山崎健太郎選手。

## 第20週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

今週は曇り空の下、4試合が行われ、今週も目玉が二つ！！

目玉第一弾は何と言っても『奈多サンデーズ八島久徳選手 サイクル安打達成！』でしょう。

＼(^◇^)/＼(\*^^\*)／おめでとうございます！（スミマセン私事で）

雁レクDのBマーリズ対奈多サンデーズ戦では、奈多サンデーズ打線が大爆発し15安打7HR20得点を挙げて勝ちました。共に2ホームの1番木下隆弘選手（5・6号）2番田中俊弘選手（7・8号）は、HRランキング1・2位です。4回裏の9番塚本浩二選手からの4者連続HRは圧巻でした。その4本目が八島選手のサイクル安打達成HRです。連続HRで盛り上がっていたので、打った本人以外はチーム・記録員すら気づいておらず、いい流れで変なプレッシャーがかからない大記録達成でした。Bマーリズも、ヒットは打つものの怪しいWプレーや、二死満塁からの好プレーなどで得点を阻まれました。目玉第2弾、奈多グラウンドの三球会对ホーネットςは、好投手同士の投げ合いでしたが、明暗が分かれませんでした。ホーネットςはタイムリーエラーが多かったとは聞きましたが、それ以上に矢野投手の与四死球が7では、守りもリズムに乗りにくかったでしょう。一方三球会吉留隆久投手は味方エラーが4ありますが、被安打1与死球1と抜群の安定感です。これで4試合連続の完封勝ちですね。FP・DPを有効的に使い、吉留投手がピッチングに専念出来ているのだとしたら、チーム首脳陣の勝利とも言えます。青松園Aのパイレーツ対ウインズ戦は、初回三者三振でスタートしたパイレーツ吉田崇浩投手が終盤点を取られたものの、味方の大量点に守られ初勝利を挙げました。四死球の多い試合でしたが、よく6回までできたなと思います。吉田投手も最後は気合いでとった三振でしょう。この試合は桐島兄弟対決でしたが、見守る父・前編集委員長はどんな気持ちなんですか？青松園Bのジャガーズ対ライナーズ戦は、先週完全試合を

達成したジャガーズ内田投手と3試合連続HR中のライナーズ濱崎選手が対決する注目の一戦でした。両チーム7安打ずつの逆転に次ぐ逆転の展開でしたが、ライナーズ4番宇野元康選手の2ラン（5号）が決定的でしたね。

さあ、今週ホーネッツが敗れて、優勝争いは1敗の奈多サンデー・フェニックス・三球会の3チームに絞られました。単独優勝になるか、はたまたプレーオフになるか？いずれにしても、3チーム1つも落とせません！！

そして、優勝争いと共に気になるのが個人タイトル争い。打者部門では、首位打者はホーネッツ山崎選手が頭一つ抜けていますが、残り2試合まだ分かりません。HR王は奈多サンデーの田中俊弘選手、木下隆弘選手2人が抜け出しましたが、共に残り1試合フェニックス池見投手が相手なので、HRは至難の業かと。3位のライナーズ宇野選手（5）も残り1試合ホーネッツ戦での3本は苦しいか？田中選手には史上3人目、2004年以来出ていない2桁HRに是非とも乗せて欲しいところです（2桁HRの2人が誰かは記録の部屋でご確認下さい）。打点は共に残り1試合の奈多サンデー田中（25）・木下選手（19）、ライナーズ宇野選手（20）、ジャガーズ立石選手（19）の上位4人に絞られてきました。盗塁はホーネッツ山崎選手を抜くことは難しそうです。

投手部門は、奪三振では残り2試合の三友クラブ安達投手が抜けているくらいで、まだ分かりません。4試合完封勝利中の三球会吉留投手が残り3試合で各部門どこまで伸ばしてくるのでしょうか？防御率も奈多サンデー首藤投手が最終のフェニックス戦で投げなければ決定でしょうか？是非、防御率1位対2位の投手戦を見たいものです。

来週10月23日は、

優勝への関門、奈多フェニックス対三苦ホーネッツ（青松園A）

ホームランの出やすい球場をどちらが制す？新町パイレーツ対奈多クラブ（青松園B）

昨年覇者の意地を見せる！ソルトベイスターズ対塩浜ジャガーズ（奈多グラウンド）

吉留投手の5試合連続完封はあるか？新町ウインズ対三苦三球会（雁レクE）

の4試合となっています。

来週も新たな記録が誕生するか、楽しみです。